



酒々井？ 盃井？

加川 治良

酒々井町の町名の由来について聞かれたことがありませんか？ 銘酒 甲子正京の蔵元があるし、呑んべいの町。

むかしむかし、親孝行の百姓が父親の大好きなお酒を買ってこが出来なくなつて、心配しながらある井戸の近くを通るとお酒の匂いするので、その水を汲んで父親に呑ませたところ、いい酒と言われ、その後水を汲んで呑んだら、普通の人が汲んで来たお水……

この酒泉の話は、和銅六年(七一三)に編さんされた『播磨風土記』にも出ています。位説で、全国的に分布しています。神事に盃水を用いるという行事の変形したものと、民俗学者の柳田国男氏は言っています。

酒ではなく盃ではないかという異説もあります。香取郡松沢村の豪農で国学者でもある宮内定雄によって弘化三年(一八四六)に著わされた『下総名所図絵』には「盃の井、印旛郡酒々井村にあり。酒井山園禰子の庭に盃の井の跡とて古き碑立ちてあれど、今は其の文字も消えてわがず……(中略)……」

東路にさして、こんとは思はねど、盃の井に影を写して、道興准后」

とあり、彼はこの古歌から盃の井探訪を思いついたのです。道興准后についてはよく分

りませんが、准后とは皇后に準じた女性のことによつて、道興准后は関東地方の修験道の開拓者といわれています。「千葉県の歴史」(33号)。細かく立ち入りませんが、中世は盃井であったのでしようか。さらに「下総名所図絵」には

「神無月二十日ばかりに、また佐倉に籠りし帰る、こりすまに尋ね見んとす……いとかすかに見ゆる細道を行くは、少し奥まりたる所に、軒傾き柱がみいとあばらなる庵室のく家ありて、倒れたる屋根に、むぐら生ひけり、掃はぬ庭は木の葉に埋もれ、常には人の行き通ふ所にあらずあり……長サ三尺ばかりなる平碑の倒れ臥したる、是を盃の井の跡に待る……碑の文字も二十年ばかり先までは現われて見え侍りしが……早く失せ果てにけり……古き名所のあせ行くが惜しければ、尋ね見侍りし事の由を、いさか書き留るになんありける

天保十より四とせといふ年の冬、椿 仲輔



酒の井の碑

とあります。この古碑は、下総式板碑で、相宗先生と皆さんの復原された円福寺の板碑ですが、幕末にはすでに荒廃していた事が記録されています。「古き名所が無くなつてゆくのは残念」と書き留めた筆者の嘆きが分かります。

酒々井という井戸。人馬の往来する街道の良い水取場の有つた所という沖田先生の所見は納得できます。白井・白井・岩井・井野・直井野・物井……酒々井の周辺の街道筋の地名を拾つても沢山出てきます。しかしなぜ酒々井ではなく酒々井と二つ重ねたのでしょうか？ よほど呑んべいが沢山いる町だったから……ではもう一はい……



辰とはなぬかに

E子

「辰年というけれど辰というのはどんな動物なの」と、今年小学生になる孫に問われ返事に困つてしまつた。さて何と言えはよいかと首をひねつたりを見た孫はすかすか「ゾイド・デスザウラーだよ、わかる」と……分るや否

などありはしない。その顔をみて「デパートに行けばわかるよ」と早速デパートに出向き買われる羽目になつてしまつた。それは、男の子に人気のある恐竜風のS.F.的怪獣メカ玩具だった。嬉しそうにだいて帰る姿に、ふと長野県の昔ばなし「小太郎と母竜」の話思い出した。

十二支中で竜は唯一の想像上の動物である。古代中国で竜の概念が育つた。日本の誕生時代に伝わつて来たという。稲作に大切な水と関係が深いから、水神、竜神として各地で信仰の対象となつた。雨のいるとき水神・竜王の名を唱え「竜王さまや雨たんもれ、雨たんもれ」と祈願したまつた。そうしたと

から昔はなし「小太郎と母竜」の中の小太郎を水神さまの申し子、母を水神さまにしたのではないかと考えられる。その昔ばなしの筋は割愛するが、もともと竜はめでたい動物とされたうえ、雲をよんで天に駆け昇る昇り竜が大方向のイメージであらう。わか郷土研究会も今年の干支に因みますます隆盛になりますようにと、念じながら、いろいろな竜の絵や彫刻にふれまみたいなと思う。





韓国旅情

山崎 たえ

事あれば軍用滑走路にもなるといふ中央分離帯無き韓国の高速路

煙中を流るる小川に持ち寄りて韓国のをみながら夜を洗ふ

とがらし煙国道沿ひに籠りて辛かりし昼餉ひとりと話ひ

発展途上の韓国のトイレ我が国の戦中あたりと思ひつづつ出づ

行方知れぬ親族帰りにくも先づ北鮮のスパイと疑へといふ

百済終る日の哀史を秘むる白馬江事無かり如滔滔と流る

李朝宮殿の前の鐘石もとほりて宮々の絹つれ聞く白昼夢

来年のソウル五輪の絵入りシャツを孫に贈ふ韓国の店に

紫と藤のチヨチヨゴリに共布の手締結(てかひむす)小両班の妻端然と居る

前日に暴動ありしといふソウル市に僅かに残る涙涙がス嗅ぐ

追懐

玉井 旭

どうしたはずみかわからぬが突然会報の原稿を頼まれてしまった。勿論文章を書くなんて器でないとは自分が一番よく知っているので一応お断りしたのだが、小咄でも見学記でもなんでもよいから軽い気持ちを書いてほしいと無茶苦茶な頼みよう。別に悪いことをして借りがあるわけではないのだから、はつきり断ればよいのにそれ出来ず、するする引受けた格好になってしまった。

と言っても落語家でもない自分に皆に聴かせるようなネタも無いし、見学記にしても同勢何人で、朝何時に町を出て、途中の美景を賞めて作らうとどこに何時に到着。お寺や神社の重宝などを參觀して、その説明員から聞いたことをそのまま書くのでは何となくつまらないし、それかと言つてエッセイ等でも何でも知識も文才もない自分に書けるわけがない。



泉をかこんで一休みくんでもつきない泉のようによまばなしがつづきます。どうぞ あなたも お仲間にならねば

勿論、会員の皆さんとのふれ合いを深めたいというところが第一ですが、二義的にはもう一度「お吉」の生まれた下田に行つて、そのお吉さんを偲んでみたいと思つたから、頭がよく利発で人並み優れに美貌に

つた彼女を慕つてのことでもなく、深い恋仲の鶴松との間をこかれて暮海保身の生け替いばせ分なくとも見本の為には言えない」となつて、アメリカの領事ハリスの愛妾となつたことを今可哀想とか、不憫とか言う気持ちでもないようです。

まさに変転流転の人生の中で、流れて落ちて、酒にその苦悩を紛らし、下田の浜に長襦袢の赤い蹴出しを腰にあけて、露にむき出し、れた透き通るような脚線の美に痛ましい幻想をかき立てられたかたのかわりません。

私達は今、郷土研究会を通じての仲良し仲間ですが、いつか離れる日があつたとき、誰かに強い追想としてもうえるような（お吉のように悲惨なものではなく）人生を過したような気がいたします。



会計報告

|                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| 小田原方面見学会(9/1) 申込者 48名 参加者 47名 |                     |
| 収入の部                          | 4000 × 48 = 192,000 |
| 支出の部                          |                     |
| バス代                           | 110,000             |
| 有料道路                          | 16,800              |
| 昼食 100 × 47 =                 | 47,000              |
| 城入場料 200 × 47 =               | 9,400               |
| ドライバー・ガイドチップ                  | 8,000               |
|                               | 191,200             |
| 差引残高                          | 800円 郷土研へ繰入れ        |
| 房総の村見学会(10/22) 参加者 25名        |                     |
| 収入の部                          |                     |
| 会費 350 × 25 =                 | 8,750               |
| 支出の部                          |                     |
| バス使用料・運転手昼食                   | 8,640               |
| 差引残高                          | 110円 郷土研へ繰入れ        |

|                              |                          |
|------------------------------|--------------------------|
| 下田方面一泊見学会(10/2~10/3) 参加者 46名 |                          |
| 収入の部                         | 会費 18,000 × 46 = 828,000 |
| 支出の部                         |                          |
| バス代金                         | 250,000                  |
| 有料道路                         | 21,500                   |
| 宿泊代 800 × 46 =               | 368,000                  |
| ドライバー・ガイド宿泊料                 | 10,000                   |
| ドライバー・ガイドチップ                 | 8,000                    |
| 昼食 2回 2000 × 46 =            | 92,000                   |
| ジュース代 350 × 46 =             | 5,250                    |
| 見学入場料 610 × 46 =             | 28,060                   |
| 返却 500 × 46 =                | 23,000                   |
| 写真代                          | 8,830                    |
|                              | 814,290                  |
| 差引残高                         | 13,710円 郷土研へ繰入れ          |

| 郷土研日誌 |                |      |       |               |      |
|-------|----------------|------|-------|---------------|------|
| 月日    | 内容             | 参加人数 | 月日    | 内容            | 参加人数 |
| 10/3  | 古今佐倉眞佐子を読む会    | 21名  | 11/25 | 編集会議          | 7名   |
| 10/4  | 石仏調査           | 8名   | 12/4  | 役員会           | 24名  |
| 10/2  | 一泊見学会(伊豆・下田方面) | 46名  | 12/5  | 古今佐倉眞佐子を読む会   | 13名  |
| 10/13 |                |      |       |               |      |
| 10/22 | 房総の村、風土記の見学    | 25名  | 12/6  | 佐倉街道を歩く(雨天中止) |      |
| 11/7  | 古今佐倉眞佐子を読む会    | 15名  | 12/9  | 同上            | 9名   |
| 11/11 | 佐倉街道を歩く(涼鞋部)   | 18名  | 12/22 | 編集会議          | 6名   |
| 12/22 | 同上             | 4名   |       |               |      |

郷土研行事業内

1月～3月

| <p>昭和63年度<br/>総会</p>   | <p>1月24日(日) 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>62年度事業報告及び決算報告</li> <li>62年度会計監査報告</li> <li>62年度事業及び決算の承認について</li> <li>63年度事業計画及び予算案について</li> <li>その他</li> <li>議事終了後文化映画観賞</li> </ol> <p>午後1時 受付<br/>午後1時30分開会<br/>中央公民館 講堂</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>63年度の会費受付(年額) ¥1,000円<br/>七草粥を食べる会 申し込み受付<br/>会費 500円 徴収します(定員60名)</p> </div> <p>ご多忙の折かと思いますが、万障おくり合<br/>わせの上、是非ご出席下さいませよう願<br/>い申し上げます。</p>   |   |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
|--|--|---|----|----|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---|------------------------------|-------------------------------|--|--|---|
| <p>県外見学会</p>   | <p>3月17日(木) 見学地 府中～国分寺方面</p> <p>出発 午前6:20 — 光ドライブイン前<br/>6:25 — 日栄クリーニング前<br/>6:30 — 中央公民館前</p> <p>酒々井 — 分倍河原古戦場碑 — 大國魂神社<br/>— 登食(勤労福祉会館) — 武蔵国分寺跡 —<br/>聖蹟桜ヶ丘(多摩聖蹟記念館) — 酒々井</p> <p>定員 45名 会費 4,500円</p> <p>申込受付日 2月17日(水) 午前9:00 公民館ロビー</p>   |   |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| <p>史談会</p>   | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>休</td> <td>13日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br/>古今佐倉真佐子を読む会</td> <td>12日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br/>古今佐倉真佐子を読む会</td> </tr> <tr> <td>休</td> <td>7日(日) 午前9時(雨天中止)<br/>中央公民館 集合</td> <td>13日(日) 午前9時(雨天中止)<br/>中央公民館 集合</td> </tr> <tr> <td>20日(水) 午前9時(雨天中止)<br/>京成酒々井駅集合<br/>大久保駅一習志野森林公園(旧伏魔)<br/>— 順天堂大学 — 二宮神社 — 船橋資料<br/>館 — 習志野原野立所 — 新京成習志野<br/>— 祇津田沼 — 酒々井 (野草の会散策)</td> <td>24日(水) 午前11時<br/>中央公民館和室<br/>七草粥を食べる会<br/>定員 60名<br/>申込受付 1月24日(日) 総会当日<br/>会費 500円</td> <td>6日(日) 午前8時(雨天中止)<br/>京成酒々井駅集合<br/>佐倉街道を歩く(5)<br/>千住を歩きます<br/>(奥州街道・日光裏街道)</td> </tr> </table> | 1月  | 2月 | 3月 | 休 | 13日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br>古今佐倉真佐子を読む会 | 12日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br>古今佐倉真佐子を読む会 | 休 | 7日(日) 午前9時(雨天中止)<br>中央公民館 集合 | 13日(日) 午前9時(雨天中止)<br>中央公民館 集合 | 20日(水) 午前9時(雨天中止)<br>京成酒々井駅集合<br>大久保駅一習志野森林公園(旧伏魔)<br>— 順天堂大学 — 二宮神社 — 船橋資料<br>館 — 習志野原野立所 — 新京成習志野<br>— 祇津田沼 — 酒々井 (野草の会散策) | 24日(水) 午前11時<br>中央公民館和室<br>七草粥を食べる会<br>定員 60名<br>申込受付 1月24日(日) 総会当日<br>会費 500円 | 6日(日) 午前8時(雨天中止)<br>京成酒々井駅集合<br>佐倉街道を歩く(5)<br>千住を歩きます<br>(奥州街道・日光裏街道) |
| 1月   | 2月   | 3月  |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| 休  | 13日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br>古今佐倉真佐子を読む会   | 12日(土) 午後7時30分(中央公民館)<br>古今佐倉真佐子を読む会                                  |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| 休  | 7日(日) 午前9時(雨天中止)<br>中央公民館 集合   | 13日(日) 午前9時(雨天中止)<br>中央公民館 集合   |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| 20日(水) 午前9時(雨天中止)<br>京成酒々井駅集合<br>大久保駅一習志野森林公園(旧伏魔)<br>— 順天堂大学 — 二宮神社 — 船橋資料<br>館 — 習志野原野立所 — 新京成習志野<br>— 祇津田沼 — 酒々井 (野草の会散策) | 24日(水) 午前11時<br>中央公民館和室<br>七草粥を食べる会<br>定員 60名<br>申込受付 1月24日(日) 総会当日<br>会費 500円   | 6日(日) 午前8時(雨天中止)<br>京成酒々井駅集合<br>佐倉街道を歩く(5)<br>千住を歩きます<br>(奥州街道・日光裏街道) |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| <p>石仏民俗調査</p>  | <p>7月 休</p> <p>2月 休</p>  |   |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |
| <p>野草の会<br/>名勝探訪</p>   | <p>20日(水) 午前9時(雨天中止)<br/>京成酒々井駅集合<br/>大久保駅一習志野森林公園(旧伏魔)<br/>— 順天堂大学 — 二宮神社 — 船橋資料<br/>館 — 習志野原野立所 — 新京成習志野<br/>— 祇津田沼 — 酒々井 (野草の会散策)</p> <p>24日(水) 午前11時<br/>中央公民館和室<br/>七草粥を食べる会<br/>定員 60名<br/>申込受付 1月24日(日) 総会当日<br/>会費 500円</p> <p>6日(日) 午前8時(雨天中止)<br/>京成酒々井駅集合<br/>佐倉街道を歩く(5)<br/>千住を歩きます<br/>(奥州街道・日光裏街道)</p>   |   |    |    |   |                                      |                                      |   |                              |                               |  |  |   |

見学会案内

**県外見学会**  
3/17(木)

分倍河原古戦場碑(府中市)  
鎌倉街道にある古戦場で、千葉  
宗家と馬加康胤原氏がたつた  
古戦場で千葉家の二分を決定的に  
した戦場跡

大國魂神社(府中市)  
武蔵一の宮で古代からの古社で、  
すばらしい櫻並木があり、周囲の都  
市化の中にも昔の面影をとどめて  
いる。

武蔵国分寺跡(国分寺市)  
天平十三年(741)に国分寺造宮  
の詔が出され、武蔵国の国府現在  
府中市に隣接し、広大な平地、湧水と  
好環境のこの地が選ばれ建てられた跡  
国分寺・万葉植物園・薬師堂・  
真容の池・湧水群・国の重要文化財  
の木像薬師如来坐像等時間と  
かけてゆっくりみます。

**名勝探訪**  
3/6(日)

聖蹟桜ヶ丘(多摩聖蹟記念館)  
多摩丘陵に昭和五年明治天皇の業績  
をたたえるために建てられた記念館で、  
円いドームとギンギヤの神殿を想わせ  
るみごとくな列柱が印象的。

佐倉街道を歩く(5)  
前回子達の回向院(入切場)まで行  
き着けなかったのが、今回はここから  
初めます。  
京成酒々井から上野まで、上野か  
ら地下鉄日比谷線まで南千住まで、  
改札を出た所が佐倉街道(奥州街  
道)で目の前が回向院です。そ  
れから日光裏街道へ出て、郵便

変更のお知らせ

「古今佐倉真佐子を読む会」  
の実施日を亦変更します。  
毎月第一土曜日  
毎月第二土曜日  
皆様の参加お待ちしています。

編集後記

会員の皆様、新年おめでとうござい  
ます。  
日頃、郷土愛の心を持ちまして酒  
々井を、又県内外に広く見聞  
して歩んでまいりました郷土研究会も  
十二年目、辰の年を迎えて、昔、  
想像されて描かれた「龍」のとても縁  
起がよいと言われているので、一層  
飛躍の年とありますよう念じて止まら  
せん。会報誌紙面を沢山の御意  
見、御感想の御投稿で満載増頁  
編集子大わらわで、嬉しい悲鳴をあげ  
ているなんて言う初夢を見させて  
いただきました。



K子